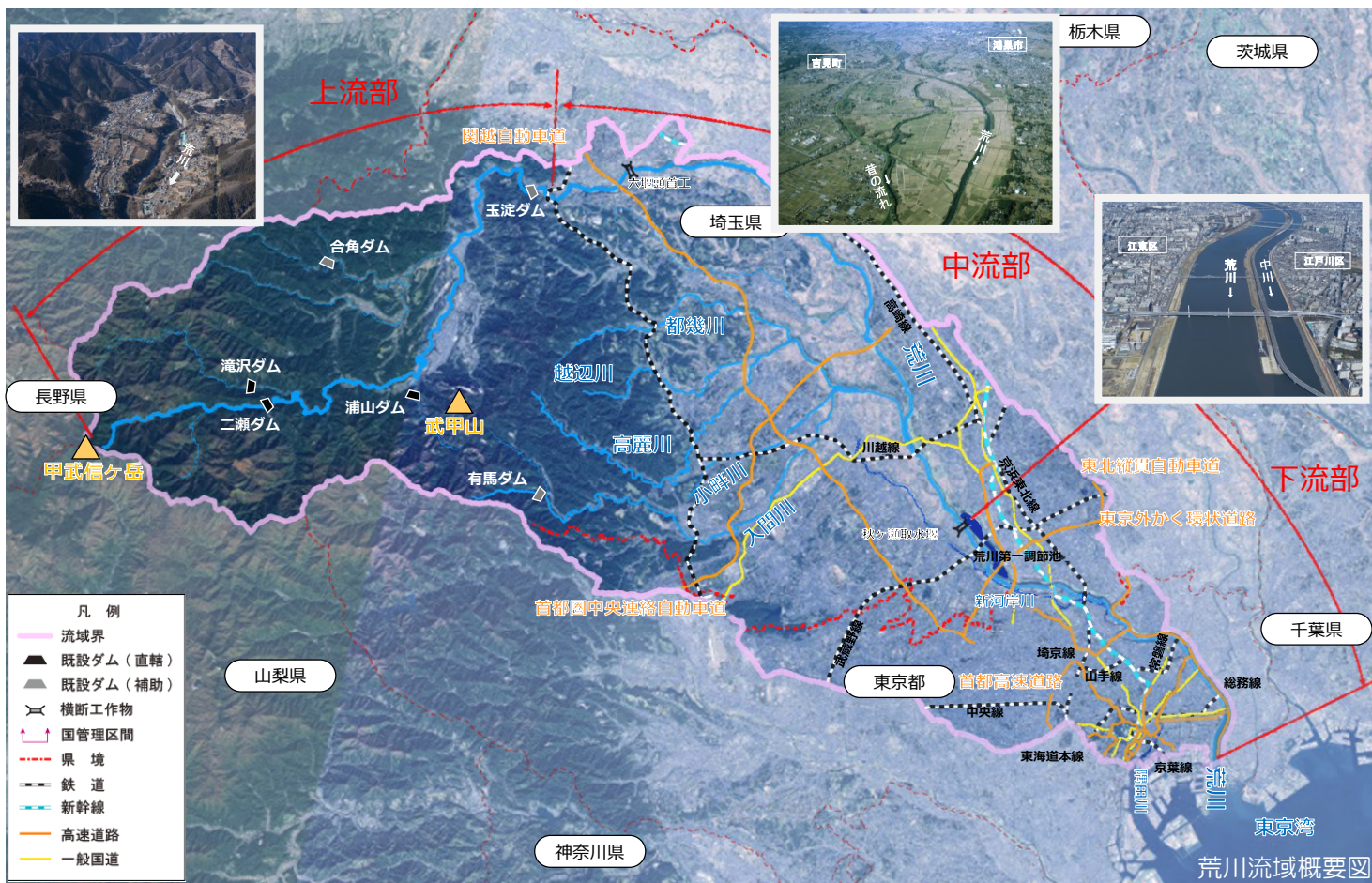


荒川ってどんな川？

～荒川流域について知ろう～

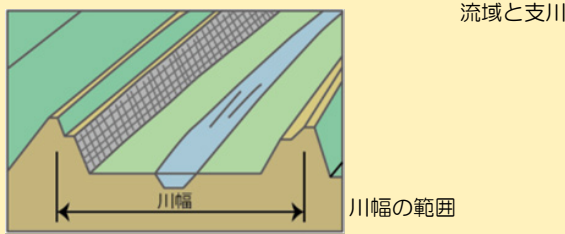
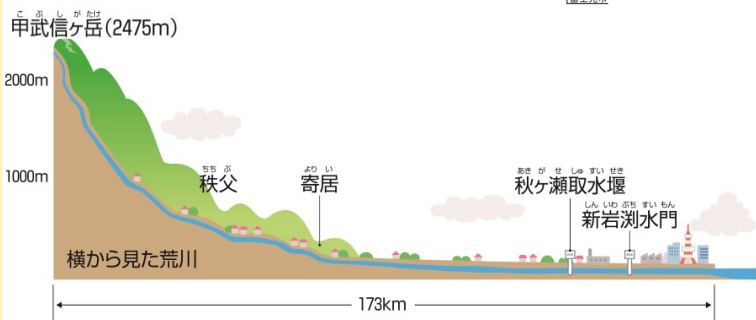
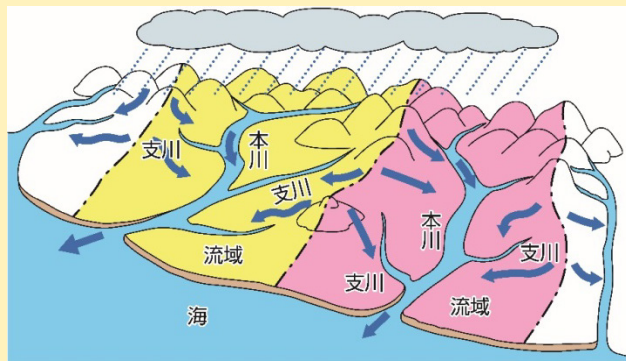
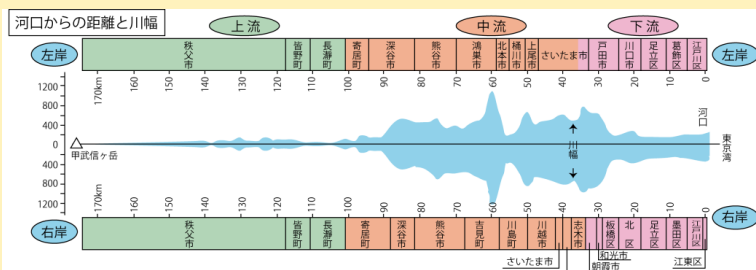
荒川は、日本の政治・経済の中核を支える重要な河川です。



荒川流域について

荒川は、埼玉県秩父山地の甲武信ヶ岳（標高2,475m）を源とし、東京湾までを流れる幹川流路延長173km、流域面積2,940km²の一級河川です。源流から秩父盆地を北へ流れ、長瀨渓谷を通った後、埼玉県大里郡寄居町で南東に流れる向きを変え関東平野に入ります。途中、都幾川や越辺川、高麗川、入間川など多くの支川と合流しながら埼玉県中央部の平野を流下し、東京都区部と埼玉県の低地を流れ、東京都北区志茂で隅田川を分け出し、東京湾に注ぎます。中流部は日本一の川幅を有し、新岩瀨水門下流が人工の放水路であることは大きな特徴です。

流域は、東京都と埼玉県にまたがり、流域内の人口は、約976万人で、その多くは、沖積低地、台地、丘陵に集中しています。荒川は、日本の政治・経済の中核を支える重要な河川です。



▶ 荒川最初の一滴を生みだす三国の分水嶺 甲武信ヶ岳

荒川は大きな流れとなり悠々と流れていますが、どのような川にもはじまり、“源流”があります。

荒川の源流は、山梨県、埼玉県、長野県の3県にわたる標高2475mの奥秩父連山の主峰、甲武信ヶ岳です。荒川源流点の碑は甲武信ヶ岳山頂から30分ほど下った標高2200m地点にあります。山頂近くからしみ出た一滴一滴が、やがて荒川へと広がっていくのです。甲武信ヶ岳に降った雨は荒川のほか、千曲川（信濃川）、笛吹川（富士川）といった日本を代表する川をつくり出しています。まさに三国（甲州・武州・信州）の分水嶺（雨水が分かれる山稜）です。山頂からは八ヶ岳、中央アルプス、富士山など日本百名山のうち43の峰を一望できます。

川の長さ173kmは、源流点より少し下の「荒川起点」からの長さです。



荒川源流点の碑

▶ 他の河川と比べてみると・・・

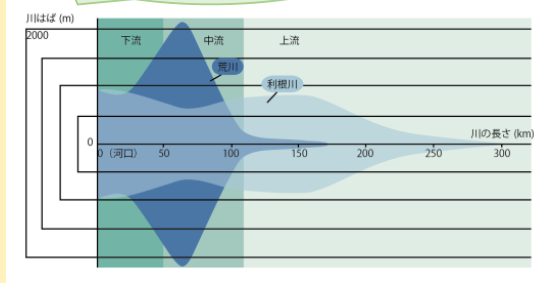
流域面積 (km ²)	
1	利根川（関東） 16,842
2	石狩川（北海道） 14,330
3	信濃川（北陸） 11,900
...	...
19	荒川（関東） 2,940

※109水系中 平成27年4月30日現在
出典：国土交通省「一級河川の河川延長等調・水系別・指定年度別・地方整備局等別」

川の長さ（幹川流路延長）(km)	
1	信濃川（北陸） 367
2	利根川（関東） 322
3	石狩川（北海道） 268
...	...
15	荒川（関東） 173

※109水系中 平成27年4月30日現在
出典：国土交通省「一級河川の河川延長等調・水系別・指定年度別・地方整備局等別」

荒川よりも流域面積が広く、長い利根川と比べて中～下流の川幅が広いことが分かります。



荒川と利根川の川幅のちがい

想定氾濫区域内一般資産額 (百万円)	
1	荒川（関東） 142,097,542
2	利根川（関東） 138,172,784
3	淀川（近畿） 102,958,042

※109水系中 調査基準年：平成17年度
出典：国土交通省「一級水系における流域等の面積、総人口、一般資産額等について」

流域にたくさんのひとや資産が集中しています。

河川空間の年間利用者数 (万人)	
1	荒川水系（関東） 2,535
2	利根川水系（関東） 2,164
3	多摩川水系（関東） 1,781

※109水系中 調査基準年：平成26年度
出典：河川水辺の国勢調査「河川空間利用実態調査」

コラム 荒ぶる川が名前の由来

「母なる川」である荒川は、大雨のあとなどには、洪水となり、かつてはそのたびに災害をもたらしてきました。そのようすをむかしの人が「荒ぶる（あばれている）川」といったことから、荒川という名前と呼ばれるようになりました。
また、埼玉県内を流れる160の一級河川のうち99を荒川水系が占め、流域面積は県土の約3分の2に及んでおり、これが荒川が“埼玉の母なる川”として称される所以です。



アクセス

甲武信岳（荒川源流）
交通：＜長野県側＞ JR小海線「信濃川上駅」より、バス40分。梓山—毛木平—千曲川源流—甲武信岳まで、徒歩約4時間
＜埼玉県側＞ 秩父鉄道「三峰口駅」より、西武バス「秩父湖」行きで終点「秩父湖」下車、秩父鉄道バス「川又」行きに乗り換え、「栃本関所跡」下車、栃本広場から、白泰山～十文字峠を経て甲武信岳まで、徒歩約10時間
住所：埼玉県秩父市大滝

